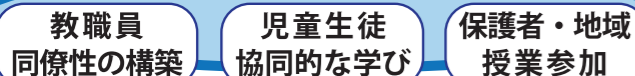


塩竈市学力向上プラン

しおがま「学びの共同体」による授業づくり

しおがま「学びの共同体」



「塩竈市学力向上プラン」では、授業の中に、子どもたちが「活躍する場」や「交流する場」を意図的に設定し、どの子どもも「できる・分かる」喜びを味わえる授業を目指します。

そして、本プランでは、新学習指導要領によりスタートする「主体的・対話的で深い学び」(アクティブラーニング)の視点から、現在行われている授業を、旧来型の「一斉授業」から21世紀型の学習形態と呼ばれる「協同的な学びの授業」への転換を図る授業改革に取り組みます。

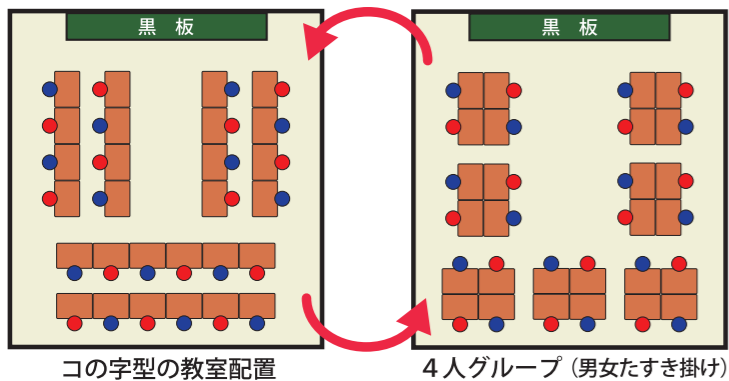
「学び」が生まれる授業をデザイン

①教師からの一方向の説明や講義ではなく、児童生徒の発言を「聴く」、「つなぐ」、「もどす」を基本とした「協同的な学びの授業」を展開していきます。

②誰もが理解すべき「共有の課題」と、その理解を基礎として挑戦する「ジャンプの課題」の2つの課題で授業をデザインしていきます。

協同的な学びのスタイル

協同的な学びでは、「全体の協同的な学び(コの字型)」と「男女混合4人グループの協同的な学び」を適宜組み合わせることで授業を進めます。(小学校低学年ではペアでの協同的な学び)



ユニバーサルデザインによる授業づくり

どの子どもも「できる・分かる」喜びを味わえる授業づくりには「ユニバーサルデザイン」の視点での授業改善が必要です。

子どもたちが、学習活動の見通しをもてるように、授業の「めあて」を明示したり、授業全体の流れを掲示したりするなど、授業をシンプルで分かりやすいものにすることが大切です。

また、指示を短く明確にしたり、視覚的な提示を工夫したりするなど、どの子どもも授業に安心して参加できる配慮が必要です。

| | | |
|-----|---------------|---------------|
| 構造化 | Structuring | 授業全体の見通しを提示 |
| 共有化 | Sharing | ペア・グループで確認 |
| 焦点化 | Focusing | 授業をシンプルに |
| 視覚化 | Visualization | 見える化 ICT 機器活用 |

塩竈市幼保小連携事業

市内の小学校と、市内の小学校に進学してくる幼稚園や保育所(園)との接続(幼保小連携)も積極的に進めます。

特別支援教育の視点での幼保小連携

近年、小学校に入学した児童が授業中に立ち歩く、話を聞けない、床に寝そべる等、学校生活に適応できず、学級がうまく機能しない状況に陥る、「小1プロブレム」が指摘されています。

そこで、特別支援教育の視点での幼保小連携に重点的に取り組みます。

アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの活用

市内等の幼稚園・保育所(園)と、市内の小学校が円滑に接続できるように、幼稚園・保育所等で使用する「アプローチカリキュラム」と、小学校で使用する「スタートカリキュラム」を作成し、「生活の接続」と「学びの接続」を滑らかに進めるようにします。

特別支援教育スーパーバイザー

塩竈市学びの支援センター「コラソン」に、「特別支援教育スーパーバイザー」を配置し、各小中学校の教職員や保護者からの相談や、各校の特別支援教育支援員、幼稚園・保育所(園)へ指導・助言を行います。



中学校区単位の交流活動

すべての教育活動の中に、児童生徒の「活躍の場」と「交流の場」を設け、中学校区単位で、様々な特色ある交流活動を実施します。

また、地域の活性化や教育力強化等、学校の「新たな役割」の創出に向け、学校、家庭、地域が一体となった取組を積極的に進めます。



小学生の中学校部活動体験



クイーンズ駅伝チームとの交流



中学校教員が小学校で1日体験

塩竈市独自の小中一貫教育

～未来へ羽ばたく塩竈っ子のために～



～未来へ羽ばたく塩竈っ子のために～

塩竈市独自の小中一貫教育

目標 すべての子どもたちに「社会をたくましく生き抜く力」を育成する

「変化の激しい社会の中で、主体的に学び続け、多様な見方・考え方を働かせながら、たくましく自らの豊かな人生を実現するとともに、他者と協働しながら、よりよい社会を創り出していく力」を育成します。

取組方針

「一人一人の発達・成長を支え、一人も見捨てることなく、良さを伸ばす教育」を行う

キーワード ～「活躍」と「交流」～

有能感(できる・分かる)、生命感(受容・承認)、達成感(達成・満足)を味わう一連の成功体験・感動体験を積み重ねて自尊感情を高め、目標を実現します。

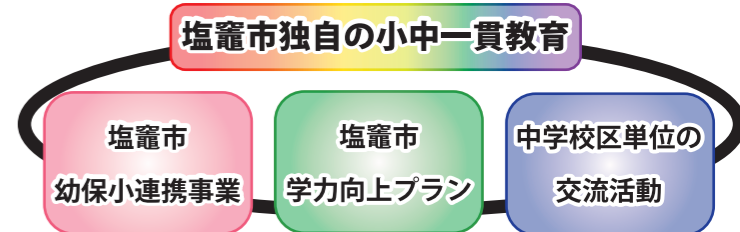
小中一貫教育の必要性

①9年間の「学びの連続性」を確保し、教育内容や学習活動の質的向上を図ります。

②「中1ギャップ」や「10歳の壁」等の発達上の段差に適切に対応します。

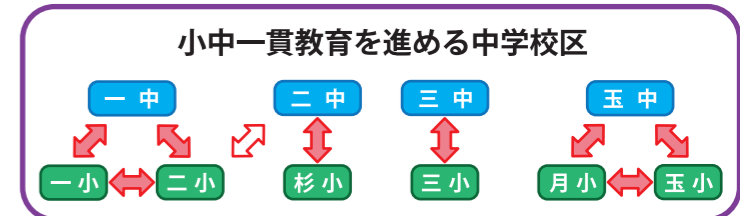
③「中学校区単位」で多様化・複雑化する学校現場の課題に取り組みます。

具体的取組 目標の実現に向け、下記の3つの事業に取り組みます。



実施体制と施設形態

組織上独立した小学校及び中学校が、現行制度の枠の中で一貫した教育課程を編成・実施する「小中一貫型小・中学校」の体制及び、「施設分離型」の施設形態で、系統的・連続的で、一貫性のある教育を推進していきます。



※浦戸小中学校は、平成27年度から施設一体型の小中一貫校になりました。
 ※二小からは、一中と二中に進学しますが、当面、一中との一貫教育を進めます。

平成30年4月
 印刷・発行 塩竈市教育委員会
 編集 学校教育課
 〒985-0052 宮城県塩竈市本町1-1
 電話 022-365-3216 FAX 022-365-3347